

通信ポート、コントロールポイント、サーバー接続、メール通知を設定したならば、装置との通信を開始するために『接続』をクリックしてください。

設定確認メッセージが表示されます。内容が正しければ『はい』を、設定を修正し接続し直す場合は『いいえ』をクリックしてください。

設定に誤りがあったり、選択した機能を使用するための環境が整っていない場合はエラーメッセージが表示されます。

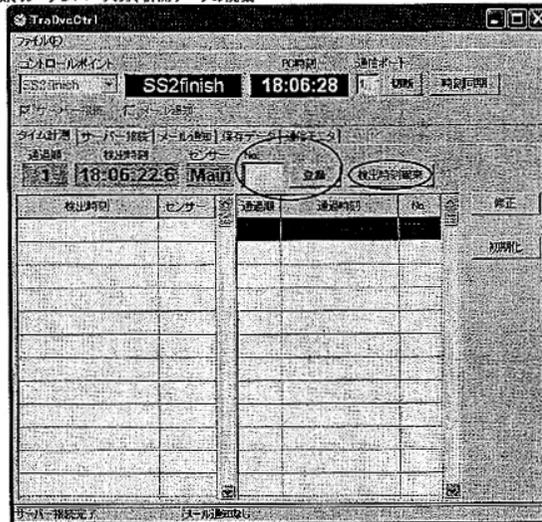
計測装置に既にカーナンバーの確定した計測データが存在する場合は、そのデータをどのように扱うかを聞いてきます。データを破棄して最初から計測をやり直す場合は『はい』を、データを残したまま計測を継続する場合は『いいえ』をクリックしてください。ひとつのSS途中に一旦切断し、再接続する場合は『いいえ』を選択してください。

計測装置との通信が開始されると左図のように表示されます。(通信状態はタブ『通信モニタ』で確認することができます。)

表示時刻はPCの時刻です。計測装置の時刻と同期させるには、『時刻同期』をクリックしてください。PCの時刻を装置の時刻に合わせます。あらかじめ計測装置を直接操作して装置時刻を正しく設定しておいてください。

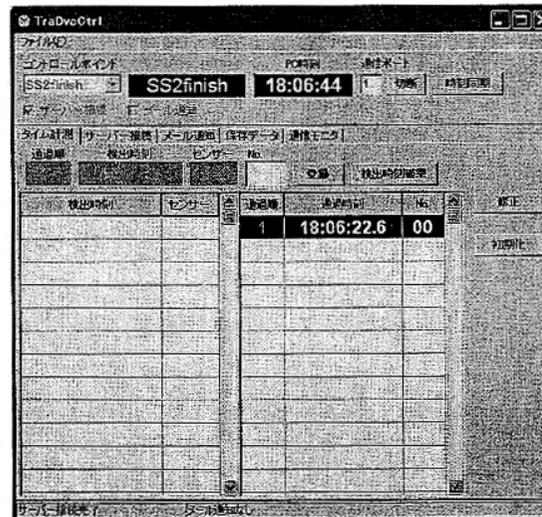
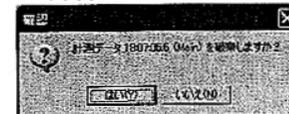


計測装置との通信を切断する場合は、『切断』をクリックしてください。一連の計測が終了しコントロールポイントを変更する場合は、『切断』をクリックしてください。



計測装置がセンサー信号の入力を検出すると検出時刻、通過順、センサー情報(どのセンサーの入力を検出したか)が表示されます。

有効な検出ならばカーナンバーを入力し『登録』をクリックしてください。有効でない検出の場合は『検出時刻廃棄』をクリックしてください。(廃棄確認メッセージが表示されます。)検出データは破棄されます。



カーナンバーを入力し『登録』をクリックするとデータは確定し、右下の欄に表示されます。